

笛吹市スポーツ推進計画(案)

笛吹市教育委員会

笛吹市スポーツ推進計画（目次）

第1章 計画策定のあらまし

1	計画策定の背景と趣旨	1
2	スポーツをめぐる国・県の動向	1
3	計画の位置付け	3
4	計画の期間	4
5	計画における「スポーツ」の範囲	4
6	スポーツ推進のための3つの視点	4

第2章 笛吹市のスポーツを取り巻く現状

1	人口等の現状	5
2	子どもの体力状況	6
3	スポーツ団体の状況	10
4	運動教室・スポーツイベントの開催状況	16
5	スポーツ推進委員の状況	18
6	山梨県立笛吹高等学校との包括連携協定	19
7	体育施設の概要と利用状況	20

第3章 基本構想

1	基本理念	24
2	基本目標	24

第4章 基本施策と具体的な方策

基本目標1：生涯スポーツの振興		
(1)	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	25
(2)	スポーツへの参加機会の創出	26
(3)	地域に活力をもたらすスポーツ環境づくり	27
基本目標2：健康づくりの推進		
(1)	子どもの健やかな身体の育成	28
(2)	高齢者のスポーツ活動の推進	29
(3)	障がい者のスポーツ活動の推進	30
基本目標3：スポーツ施設の充実		
	スポーツ施設の環境整備	31
基本目標4：スポーツ団体及び指導者の育成、支援		
(1)	スポーツ団体の活動の支援	32
(2)	指導者の育成、確保	33
	施策の数値目標	34

第5章 計画の推進

1	計画の推進体制	35
2	計画の進行管理	35

資料 笛吹市スポーツ推進審議会委員名簿

第1章 計画策定のあらまし

1 計画策定の背景と趣旨

笛吹市では、平成30年3月に、平成30年度から令和7年度までを計画期間とする第二次笛吹市総合計画を策定し、本市に住む誰もが幸せを実感し、心にゆとりを持ち、優しさあふれるまちにするため、将来像を「ハートフルタウン笛吹～優しさあふれるまち～」と定め、その実現に向け、施策や事業を展開しています。

近年、人口減少と少子高齢化の進行により、これまで地域を支えてきた様々な分野の団体等においても、構成員の高齢化と担い手不足により、団体の維持や継承が困難になるなど、地域コミュニティの機能やまちの活力の低下が懸念されています。また、社会や経済の成熟化、国際化や情報化が進む中で、人々のライフスタイルや価値観が多様化してきました。

その様な社会情勢の中、情報通信機器の進歩による生活環境の大きな変化が、便利で快適な生活をもたらす一方、人々の体力低下の一つの原因といわれています。

また、働き方改革などにより、各世代で余暇の過ごし方が多様化し、運動においてもそれぞれの目的に応じたスポーツを楽しみ、心身ともに豊かなライフスタイルを求めるようになりました。スポーツは、心身の両面に影響を与え、爽快感、達成感、仲間との連帯感をもたらす、ひいては生活習慣病の予防など健康の保持増進に資するものであり、誰もがそれぞれのライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことは人生を豊かにする上で必要不可欠なものと考えられます。

国は、スポーツを国民に広く普及させることを目的とした「スポーツ振興法」を50年ぶりに改正し、21世紀におけるわが国の今後のスポーツ推進の具体的な方向性を示す「スポーツ基本法」を平成23年8月に施行しました。

山梨県では、日本一となった健康寿命をさらに延ばすとともに、健康で豊かな生活と地域社会の活性化を目指すため、令和元年6月に「山梨県スポーツ推進計画」を策定しています。

このような国や県の動向を踏まえ、本市の運動・スポーツに関する課題や取り組むべき施策また目標を明らかにし、市民が生涯にわたってスポーツを楽しみ、心身ともに健康に暮らすための基本的な方向性を定める計画として「笛吹市スポーツ推進計画」を策定します。

2 スポーツをめぐる国・県の動向

(1) 国のスポーツ基本計画の策定

平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」は、昭和36年制定の「スポーツ振興法」から約50年ぶりに全面改正され、「スポーツは世界共通の人類の文化である。」との考えに立ち、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の

形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与することを目的として制定されました。

国は、スポーツ基本法の理念の実現に向け、今後のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、平成24年3月に、10年間程度を見通した基本方針を定めるとともに、平成24年度から概ね5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策を体系化した「第1期スポーツ基本計画」を策定しました。

また、平成29年3月に、平成29年度から平成33年度までを計画期間とする第2期スポーツ基本計画を策定し、次のとおり、「基本方針」及び「総合的かつ計画的に取り組む施策」を示しました。

基本方針

- 1 スポーツで「人生」が変わる
- 2 スポーツで「社会」を変える
- 3 スポーツで「世界」とつながる
- 4 スポーツで「未来」を創る

今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

- 1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」というスポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実
- 2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現
- 3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備
- 4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

国では、計画期間において、「スポーツ参画人口」を拡大し、スポーツ界が他分野との連携・協働を進め、「一億総スポーツ社会」の実現を目指しています。

(2) 山梨県スポーツ推進計画の策定

山梨県では、平成26年2月に、本県における教育振興の基本計画である「新やまなしの教育振興プラン」のスポーツ部門の基本方針である、健康で豊かな生活と地域社会の活性化を目指す「やまなしスポーツ」の創出を推進していくため、平成26年度から平成30年度までの5年間の計画期間とする「やまなしスポーツ推進プログラム」を策定し、具体的な事業などを示し、取り組んできました。

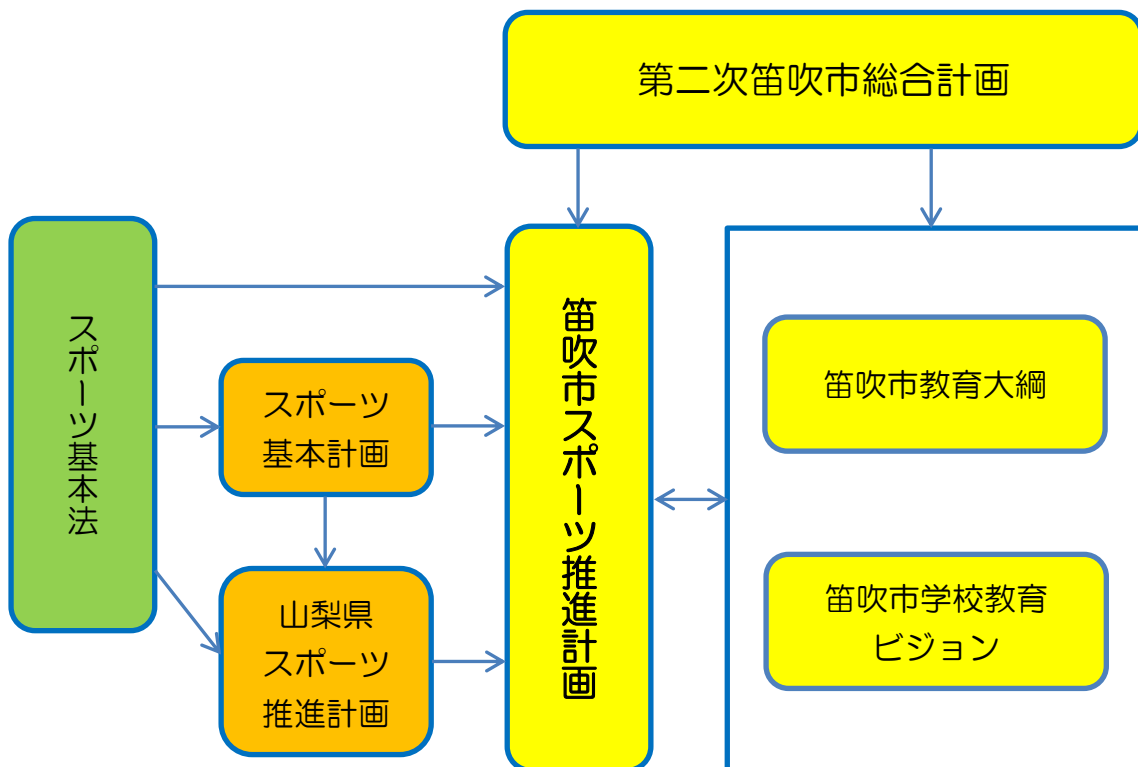
令和元年6月には、国の第2期スポーツ基本計画の策定に伴い、令和元年度から令和5年度までを計画期間とする、山梨県の実情に即した「山梨県スポーツ推進計画」を策定しました。

基本理念に「県民誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる元気なやまなしをつくる」を掲げ、県民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで、

日本一となった健康寿命をさらに延ばすとともに、健康で豊かな生活と地域社会の活性化を目指しています。

3 計画の位置付け

- (1) 本計画は、スポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号）第 10 条に基づき、本市がスポーツに関する施策を関係機関等と連携を図りながら、総合的に推進するための指針として策定します。
- (2) 本計画は、文部科学省の「スポーツ基本計画」及び山梨県の「山梨県スポーツ推進計画」を参考に策定します。
- (3) 本計画は、第二次笛吹市総合計画の将来像を実現するために定めた 3 つの基本目標のうちの「幸せ実感こころ豊かに暮らせるまち」に基づくとともに、「笛吹市教育大綱」及び「笛吹市学校教育ビジョン」との整合性を図った計画とします。
- (4) 本計画では、市民、学校、関係機関及びスポーツ団体等、地域に係る全ての人々が、スポーツ・レクリエーション活動等に取り組む方向性を示します。



4 計画の期間

計画期間は、令和3年度を初年度とし、令和7年度までの5年間とします。

なお、計画期間中、社会情勢の変化等を勘案し、必要に応じて適宜見直しを行うこととします。

5 計画における「スポーツ」の範囲

本計画では、「スポーツ」の範囲を勝敗や記録を競うことを目的とした競技スポーツや学校体育にとどまらず、軽スポーツやレクリエーション、ウォーキング、体操など、健康や遊び、楽しみを目的とした身体活動なども含め、幅広く捉えるものとします。

また、スポーツを実際に「する人」だけでなく、スポーツの観戦等「観る人」、そして指導者やボランティアといった「支える人」といった活動もスポーツとして捉えることとします。

6 スポーツ推進のための3つの視点

(1) 「する」スポーツ

ライフスタイルや競技レベルに応じて市民が主体的に自らの体を動かしてスポーツを「する」ことで楽しさや喜びを感じ、健康維持や生きがいに満ちた生き方の実現につながるものと考えます。

(2) 「みる」スポーツ

スポーツを「みる」ことで、プロスポーツチームやトップアスリートが活躍する姿に感動し、人生に活力が得られるほか、身近なアスリートやスポーツをしている家族、友人等を応援することは、スポーツを「する」人の力にもなるものと考えます。

また、スポーツ観戦を通じて、スポーツの魅力を感じることで、自らがスポーツを「する」ことへの動機づけにもつながるものと考えます。

(3) 「ささえる」スポーツ

ボランティアや指導者、審判などスポーツを「ささえる」ことで「する」人たちだけでなく「みる」人たちの力になるものと考えます。

また、「ささえる」ことで、多くの人々が交わり、感動を共有し合い、社会の絆を強くすることができるものと考えます。

第2章 笛吹市のスポーツを取り巻く現状

1 人口等の現状

◆笛吹市の総人口・年齢別・年齢階級人口の推移

本市の人口は、5年ごとの国勢調査によると、平成17年の71,711人をピークに減少に転じ、平成27年では7万人を割り込み、令和2年には66,979人となりました。

一方、平成7年から令和2年までの世帯数の推移をみると、年々増加しており、令和2年は26,821世帯となっています。

また、年齢階層別人口の推移をみると、0～14歳及び15～64歳の人口が減少傾向にあります。65歳以上の人口は増加しています。高齢化率は平成17年に21.4%となり、本市でも高齢化率が21%以上を占める際に定義される「超高齢社会」へと移行し、その割合は年々増加しています。

(人・世帯)

	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年	R2年	H22～27年 増減率(%)	H27～R2年 増減率(%)
人口(人)	66,839	71,025	71,711	70,529	69,559	66,979	-1.4	-3.7
年少人口 (0～14歳)	10,924	11,366	10,966	9,960	8,720	—	-12.4	—
生産年齢人口 (15～64歳)	43,781	45,761	45,382	43,189	40,010	—	-7.4	—
高齢人口 (65歳以上)	12,134	13,897	15,356	17,092	19,541	—	14.3	—
年齢不詳	0	1	7	288	1,288	—		
世帯数	21,035	23,520	25,029	25,500	26,268	26,821	3.0	2.1
1世帯当たり 人数(人/世帯)	3.18	3.02	2.87	2.77	2.65	2.50		
高齢化率	18.2%	19.6%	21.4%	24.3%	28.6%	—		

資料：国勢調査

※高齢化率(%) = 高齢人口(65歳以上) ÷ (総人口 - 年齢不詳人口) × 100

※令和2年度国勢調査数値は、令和3年6月25日付の速報値であり、年齢別の人口は公表されていません。

2 子どもの体力状況

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、市内小学校、中学校の児童・生徒の運動やスポーツに対する意識について、中学校2年生では、「好き」「やや好き」が男子は93.0%、女子は84.6%、小学校5年生では、「好き」「やや好き」が男子は94.0%、女子は92.0%であり、小学校、中学校の男女とも全国平均を上回っています。また、運動習慣について、1週間の総運動時間では、420分以上の割合が、中学校2年生では、男子が89.3%、女子が69%で男女とも全国平均を上回っていますが、小学校5年生では、男子が47.8%、女子が29.4%で男女とも全国平均を下回る結果になっています。

運動能力について、実技に関する調査（テスト項目：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（中学生はハンドボール投げ））の集計を見ると、中学校2年生では、女子の上体起こし、長座体前屈が、種目ごとに全国を標準（50.0点）に示したT得点において全国を若干下回っていますが、その他の種目は男女とも全国以上であり、体力合計点も全国及び山梨県を上回っています。小学校5年生では、男子の長座体前屈、女子のソフトボール投げ、男女の反復横跳びが全国を上回っています。また、男子の長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、女子のソフトボール投げ、男女の反復横とびが山梨県を上回っています。しかし、体力合計点では男女ともに全国及び山梨県を下回っており、バランスの良い体力の向上に課題が見られます。

これらから、中学校2年生の男女では1週間の総運動量、体力合計点がともに全国及び山梨県を上回り、小学校5年生の男女では、ともに全国及び山梨県を下回っていることが確認できます。

この結果は、本市の中学校では、県大会等で好成績を収めるなど部活動が盛んであるため、1週間の総運動時間が多いことと体力合計点が高いことの一因として考えられます。一方、小学校では、子どもを取り巻く事件や事故の影響により集団下校する習慣もでき、放課後に学校で遊ぶ児童が減少しているほか、少子化による遊び仲間の減少、インターネット等の普及による遊び方の変化などにより、子どもたちが屋外や集団で遊ぶ時間が少なくなったことや、習い事の多様化などによりスポーツ少年団の加入者が年々減少している現状が、1週間の総運動時間及び体力合計点に影響している可能性が考えられます。

運動やスポーツに対する意識（全国、山梨県、笛吹市の比較）（単位：％）

	小学5年男子				小学5年女子			
	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
全国	71.2	22.1	4.6	2.0	55.5	32.1	9.0	3.3
山梨県	76.9	18.6	3.2	1.3	60.6	29.9	7.3	2.2
笛吹市	73.5	20.5	4.7	1.3	63.4	28.6	4.5	3.6
	中学2年男子				中学2年女子			
	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
全国	62.9	26.5	7.1	3.5	46.9	32.3	14.3	6.6
山梨県	63.6	27.1	6.4	2.9	48.4	33.3	12.9	5.3
笛吹市	66.4	26.6	5.0	1.9	50.2	34.4	10.9	4.5

資料：令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

1週間の総運動時間（全国、山梨県、笛吹市の比較）（単位：％）

	小学5年男子				小学5年女子			
	0分	1～59分	60～ 419分	420分 以上	0分	1～59分	60～ 419分	420分 以上
全国	3.6	4.0	40.8	51.5	4.7	8.3	56.9	30.1
山梨県	2.2	2.9	39.3	55.6	4.1	7.2	57.2	31.6
笛吹市	4.3	4.3	43.5	47.8	5.0	9.0	56.6	29.4
	中学2年男子				中学2年女子			
	0分	1～59分	60～ 419分	420分 以上	0分	1～59分	60～ 419分	420分 以上
全国	5.2	1.9	9.4	83.5	13.0	6.4	18.9	61.7
山梨県	3.7	2.2	7.9	86.2	9.6	6.2	16.8	67.4
笛吹市	2.3	0.4	8.0	89.3	7.8	7.3	15.9	69.0

資料：令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

実技に関する調査集計 体力合計点（全国、山梨県、笛吹市の比較）

	小学5年男子		小学5年女子	
	体力合計点	全国比	体力合計点	全国比
全国	53.61	—	55.59	—
山梨県	52.91	98.7%	54.84	98.7%
笛吹市	52.50	97.9%	53.97	97.1%
	中学2年男子		中学2年女子	
	体力合計点	全国比	体力合計点	全国比
全国	41.69	—	50.22	—
山梨県	42.41	101.7%	51.08	101.7%
笛吹市	44.34	106.4%	51.89	103.3%

※8種目の体力テストの成績を1点から10点に得点化して合計したもの。

資料：令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 実技に関する調査集計(小学5年生)

小学校 5年男子	握力 (kg)				上体起こし (回)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	522,539	16.37	3.77	50.0	520,994	19.80	6.00	50.0
山梨県	3,168	16.28	3.76	49.8	3,153	19.74	6.11	49.9
笛吹市	257	15.79	3.63	48.5	256	18.59	6.06	48.0

小学校 5年男子	長座体前屈 (cm)				反復横とび (点)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	521,166	33.24	8.28	50.0	519,520	41.74	7.99	50.0
山梨県	3,154	32.79	8.11	49.5	3,129	42.13	7.70	50.5
笛吹市	259	33.88	8.09	50.8	251	42.77	8.77	51.3

小学校 5年男子	20mシャトルラン (回)				50m走 (秒)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	516,726	50.32	21.09	50.0	518,462	9.42	1.03	50.0
山梨県	3,074	46.62	20.03	48.2	3,160	9.46	1.05	49.7
笛吹市	252	46.78	19.46	48.3	255	9.43	0.91	49.9

小学校 5年男子	立ち幅とび (cm)				ソフトボール投げ (m)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	519,558	151.45	22.06	50.0	519,180	21.61	8.19	50.0
山梨県	3,138	150.32	21.87	49.5	3,160	20.76	7.78	49.0
笛吹市	255	150.00	22.64	49.3	254	19.40	6.83	47.3

小学校 5年男子	体力合計点 (点)				総合評価 (%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	A	B	C	D	E
全国	495,427	53.61	9.22	50.0	495,427	11.7%	24.1%	33.0%	21.3%	9.9%
山梨県	2,962	52.91	8.95	49.2	2,962	8.8%	24.3%	34.2%	21.8%	11.0%
笛吹市	234	52.50	8.14	48.8	234	6.0%	23.5%	35.0%	25.6%	9.8%

小学校 5年女子	握力 (kg)				上体起こし (回)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	503,966	16.09	3.80	50.0	502,351	18.95	5.41	50.0
山梨県	3,162	16.03	3.78	49.8	3,139	19.03	5.31	50.1
笛吹市	250	15.56	3.81	48.6	250	18.44	4.88	49.0

小学校 5年女子	長座体前屈 (cm)				反復横とび (点)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	502,618	37.62	8.49	50.0	500,961	40.14	7.17	50.0
山梨県	3,145	36.98	8.36	49.3	3,125	40.52	6.85	50.5
笛吹市	246	36.13	7.91	48.3	243	41.57	7.58	52.0

小学校 5年女子	20mシャトルラン (回)				50m走 (秒)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	498,049	40.79	16.48	50.0	499,329	9.64	0.86	50.0
山梨県	3,074	36.12	15.06	47.2	3,129	9.71	0.86	49.1
笛吹市	247	35.34	13.66	46.7	249	9.74	0.85	48.8

小学校 5年女子	立ち幅とび (cm)				ソフトボール投げ (m)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	500,778	145.68	20.70	50.0	500,310	13.61	4.78	50.0
山梨県	3,131	144.75	20.15	49.5	3,128	13.69	4.54	50.2
笛吹市	248	141.19	22.37	47.8	248	13.83	4.47	50.5

小学校 5年女子	体力合計点 (点)				総合評価 (%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	A	B	C	D	E
全国	479,536	55.59	8.72	50.0	479,536	16.0%	27.0%	33.2%	17.9%	5.8%
山梨県	2,956	54.84	8.32	49.1	2,956	12.4%	26.5%	36.0%	19.2%	6.0%
笛吹市	229	53.97	7.98	48.2	229	9.2%	24.9%	36.7%	23.1%	6.1%

標準偏差：テスト成績の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。

T得点：全国平均値に対する相対的位置を示し、単位や標準偏差が異なるテスト成績を比較する。平均値50点の標準得点。

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 実技に関する調査集計(中学2年生)

中学校 2年男子	握力 (kg)				上体起こし (回)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	454,582	28.65	7.14	50.0	451,835	26.96	6.17	50.0
山梨県	3,171	29.37	7.34	51.0	3,130	27.08	6.19	50.2
笛吹市	260	30.96	6.93	53.2	258	27.77	6.14	51.3

中学校 2年男子	長座体前屈 (cm)				反復横とび (点)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	452,170	43.50	10.70	50.0	449,124	51.91	8.17	50.0
山梨県	3,151	44.12	10.41	50.6	3,109	52.76	8.62	51.0
笛吹市	261	45.06	9.49	51.5	260	54.18	6.54	52.8

中学校 2年男子	20mシャトルラン (回)				50m走 (秒)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	298,851	83.53	24.57	50.0	445,956	8.02	0.88	50.0
山梨県	3,001	82.94	23.64	49.8	3,064	8.00	0.88	50.2
笛吹市	252	86.58	23.18	51.2	250	8.01	0.93	50.1

中学校 2年男子	立ち幅とび (cm)				ハンドボール投げ (m)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	448,573	195.03	28.30	50.0	447,599	20.40	5.75	50.0
山梨県	3,117	195.56	30.12	50.2	3,114	20.02	5.69	49.3
笛吹市	261	202.26	27.27	52.6	262	20.38	5.39	50.0

中学校 2年男子	体力合計点 (点)				総合評価 (%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	A	B	C	D	E
全国	417,526	41.69	10.27	50.0	417,526	7.6%	25.1%	37.1%	22.7%	7.4%
山梨県	2,775	42.41	10.23	50.7	2,775	9.1%	26.0%	37.0%	21.5%	6.4%
笛吹市	235	44.34	9.54	52.6	235	11.5%	30.6%	37.0%	16.2%	4.7%

中学校 2年女子	握力 (kg)				上体起こし (回)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	435,539	23.79	4.61	50.0	433,249	23.69	5.85	50.0
山梨県	2,982	24.19	4.77	50.9	2,950	23.58	5.77	49.8
笛吹市	247	24.78	4.40	52.2	248	23.32	5.32	49.4

中学校 2年女子	長座体前屈 (cm)				反復横とび (点)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	434,004	46.32	9.99	50.0	430,667	47.28	6.76	50.0
山梨県	2,967	45.30	10.06	49.0	2,930	48.03	7.15	51.1
笛吹市	248	45.97	8.90	49.7	245	47.56	7.71	50.4

中学校 2年女子	20mシャトルラン (回)				50m走 (秒)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	285,628	58.31	19.95	50.0	426,344	8.81	0.80	50.0
山梨県	2,800	59.04	19.01	50.4	2,867	8.72	0.79	51.1
笛吹市	233	60.53	19.52	51.1	236	8.76	0.84	50.6

中学校 2年女子	立ち幅とび (cm)				ハンドボール投げ (m)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	430,258	169.90	24.34	50.0	430,442	12.96	4.18	50.0
山梨県	2,939	170.97	24.13	50.4	2,929	12.95	4.10	50.0
笛吹市	246	174.07	21.76	51.7	242	13.27	4.21	50.7

中学校 2年女子	体力合計点 (点)				総合評価 (%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	A	B	C	D	E
全国	401,891	50.22	11.04	50.0	401,891	31.4%	32.3%	24.7%	9.7%	1.9%
山梨県	2,590	51.08	10.63	50.8	2,590	33.3%	34.8%	22.6%	7.8%	1.6%
笛吹市	217	51.89	9.67	51.5	217	36.4%	35.5%	22.1%	5.5%	0.5%

総合評価：体力合計点をもとに、AからEの5段階で相対的な評価を行っている。Aが最も高く、Eが最も低い。

3 スポーツ団体の状況

(1) 笛吹市スポーツ協会

笛吹市スポーツ協会は、令和2年6月に、時代の変化に対応し、「楽しみを求めたり、勝敗を競ったりする目的で行われる身体運動の総称」である「スポーツ」という言葉をもって、さらなるスポーツ振興を推進するため、笛吹市体育協会から名称を変更しました。

笛吹市スポーツ協会は、市民の体力向上と市民相互の親和を推進するため、市体育祭りや地区スポーツ大会、そのほかフルーツロード駅伝競走大会などの市民参加型スポーツイベントを行っています。

また、笛吹市スポーツ協会の加盟団体の多くが参加し競い合う山梨県体育祭りでは、市の部において平成20年の第61回大会から令和元年の第72回大会まで、2位を継続しています。

笛吹市スポーツ協会の会員数について、令和2年度は4,222人であり、過去5年間（平成28年度から令和2年度）で349人減少しています。特に、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度当初に団体の活動ができない状況があったことも会員数減少の一因として考えられます。

笛吹市スポーツ協会の登録団体・会員数の推移

年 度	競技 (種目)	登録団体 (団体)	会員数 (人)
平成27年度	36	36	4,552
平成28年度	36	36	4,571
平成29年度	36	36	4,535
平成30年度	36	36	4,449
令和元年度	35	35	4,414
令和2年度	34	34	4,222

資料提供：(公財)ふえふき文化・スポーツ振興財団

(2) 笛吹市スポーツ少年団

笛吹市スポーツ少年団は、「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを」の理念のもと、大会の開催や参加、奉仕活動、各種研修会活動を行っています。

笛吹市スポーツ少年団の団員数及び指導者数について、令和 2 年度の団員数は 878 人、指導者数は 246 人であり、過去 5 年間（平成 28 年度から令和 2 年度）で団員数が 205 人、指導者数が 23 人減少しています。また、市内小中学校の児童・生徒のスポーツ少年団への加入者率は年々減少傾向にあり、令和元年度に若干増加したものの令和 2 年度は 16.72% となって、平成 28 年度からの 5 年間で 3.43 ポイントも減少している状況となっています。

団員数及び指導者数並びに加入率は年々減少傾向にあったものの、令和 2 年度に大きく減少しています。これは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度当初にスポーツ少年団活動ができない状況があったことも一因として考えられます。

また、笛吹市スポーツ少年団では、団員相互の親睦を図る活動や指導者の技術向上のため、子どもたちが楽しみながら積極的に体を動かし、発育段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムであるアクティブ・チャイルド・プログラム等の指導者研修を行っています。

笛吹市スポーツ少年団の団員数・指導者数の推移

年 度	団数 (団)	団員数 (人)	指導者数 (人)
平成 27 年度	50	1,097	274
平成 28 年度	51	1,083	269
平成 29 年度	50	1,015	267
平成 30 年度	50	975	264
令和元年度	49	979	258
令和 2 年度	48	878	246

※団員数は幼児、小学生、中学生、高校生の加入人数

資料提供：(公財) ふえふき文化・スポーツ振興財団

笛吹市スポーツ少年団に加入している小学生及び中学生の団員数及び加入率

年 度	市内小中学校の 児童・生徒数 (人) [A]	小学生及び中学生 のスポーツ少年団 団員数 (人) [B]	加入率 (%) [B/A]
平成 27 年度	5,406	1,067	19.74
平成 28 年度	5,300	1,068	20.15
平成 29 年度	5,157	1,002	19.43
平成 30 年度	5,038	960	19.06
令和元年度	4,924	973	19.76
令和 2 年度	4,875	815	16.72

資料提供：(公財) ふえふき文化・スポーツ振興財団

(3) 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとは、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで、様々なスポーツを愛好する人々が、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できるという特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

本市では、平成13年9月から旧境川村の有志により「わいわいスポーツクラブ」の活動が始まり、平成23年3月に総合型地域スポーツクラブに移行し、境川町を中心に活動をしています。

わいわいスポーツクラブ

実施種目・・・トランポリン、跳び箱、マット運動を中心に、ウォーキング、
グラウンドゴルフ、スポーツ吹矢、ドッジボールなど

会員数・・・保育園から大人まで 87名（令和元年度）
（男51名、女36名）内、障がいのある方（男1名）

年会費・・・個人2,000円、ファミリー3,000円



(4) 公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団

平成4年5月に地域の芸術文化、スポーツの向上及び住民の福祉の増進等地域の活性化に寄与することを目的として「財団法人いさわ文化・スポーツ振興財団」が設立されました。その後、平成22年1月25日に「財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団」となり、平成26年に公益財団法人へ移行し、現在に至っています。

笛吹市桃の里マラソン大会、笛吹市桃源郷春まつり全国ゲートボール大会の運営を行うほか、様々なスポーツ振興に関する事業を行っています。

笛吹市桃の里マラソン大会は、毎年桃の花の時期に合わせて開催され、ハーフ、10km、5kmなどの部門に分かれており、子どもから高齢者までが参加し健脚を競っています。平成31年4月に開催された第15回大会には県内外から総勢2,867人が参加しました。

笛吹市桃源郷春まつり全国ゲートボール大会は、毎年4月に行われる本市の春まつりに合わせて開催しています。平成31年4月に開催された大会には95チームが参加しました。

また、健康づくり・スポーツ振興に関する事業では、令和元年度は10事業が行われ3,130人が参加しました。

公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団は、笛吹市スポーツ協会及びスポーツ少年団などの事務局や各種大会の事務局を務めるほか、スポーツ大会やイベントを開催するなど、本市スポーツの普及、振興の中核を担っています。

参加数の推移

年 度	桃の里マラソン大会	桃源郷春まつり 全国ゲートボール大会
平成27年度	3,315人	140チーム
平成28年度	3,188人	120チーム
平成29年度	3,015人	105チーム
平成30年度	2,951人	85チーム
令和元年度	2,867人	95チーム
令和2年度	【中止】3,104人	【中止】85チーム

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が中止されました。

記載の数字は応募数です。

資料提供：(公財)ふえふき文化・スポーツ振興財団

公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団が主催するスポーツ振興事業（令和元年度）

No.	事業名	実施期間・会場	事業内容	参加者数
1	第 15 回笛吹市長杯争奪ソフトテニス大会	5 月 12 日(日) 笛吹市石和中央テニスコート	市内外の中学から一般までの男女が出場。 12 部門に分かれ熱戦が繰り広げられた。 119 組参加	280 人
2	第 35 回わんぱく相撲全国大会笛吹場所兼第 27 回清流杯争奪笛吹わんぱく相撲大会	5 月 12 日(日) 笛吹市石和清流館相撲場	市内の相撲好き小中学生が参加。団体戦・個人戦があり、個人戦小学校 4-6 年生の優勝者は山梨県予選会出場の第一候補選手とし、予選会 1 位・2 位の選手は墨田区総合体育館で開催される全国大会へ出場できる。 団体戦 14 チーム、個人戦 80 名参加	120 人
3	第 24 回清流杯争奪少年柔道大会	5 月 26 日(日) 笛吹市石和清流館柔道場	市内外の柔道スポーツ少年団が参加し、地元との交流を図った。 3 部門に分かれ、リーグ戦、トーナメント戦を行った。 16 団体 50 チーム参加	300 人
4	第 14 回笛吹市軟式野球大会	8 月 4 日(日) 笛吹市石和農村スポーツ広場 石和中学校グラウンド	旧石和町時代の「根津杯」が発展し、笛吹市野球大会となった。 市内の企業・同級生等がチームを編成し熱戦を展開した。 11 チーム参加	250 人
5	第 50 回石和温泉柔道大会兼第 55 回笛吹市スポーツ少年団大会	8 月 4 日(日) 笛吹市石和清流館柔道場	市内外の柔道スポーツ少年団が参加し、地元との交流を図った。 20 団体 46 チーム参加	330 人
6	第 31 回スコレーカップわんぱくサッカー大会	8 月 31 日(土) ～9 月 1 日(日) 清流公園芝生広場 笛吹市石和農村スポーツ広場 他	峡東地域を中心にチームを集い、2 日間にわたり熱戦を繰り広げた。 初日の予選は 3・4 チームによるリーグ戦、2 日目は予選の順位でリーグを編成するため、同等のチーム同士で白熱した試合が展開された。 U-10 48 チーム、U-9 18 チーム参加	900 人
7	第 28 回スコレー旗少年野球大会	10 月 20 日(日) 石和富士見小学校グラウンド	10 月 19 日に開催予定であったが、雨天のため規模を縮小し、千葉県館山市のチームと交流戦を行った。	50 人
8	NHK ジュニアサッカー教室	10 月 20 日(日) 笛吹市石和農村スポーツ広場	2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、これまで以上にスポーツへの関心が高まるなか、近い将来、オリンピックや世界大会等で活躍するような選手がでてくることを願い、NHK 甲府放送局、笛吹市との共催でワールドカップやオリンピックでの元日本代表の小島信幸さん、森岡隆三さんを講師としてサッカー教室を行った。 中学校 5 校	80 人
9	第 28 回清流杯争奪少年剣道大会	12 月 1 日(日) 笛吹市石和清流館剣道場	市内外の県道スポーツ少年団が参加。小学生、中学生の部に分かれてリーグ戦、トーナメント戦が繰り広げられた。 小学生の部 11 チーム 中学生の部 11 チーム参加	70 人
10	第 27 回笛吹市清流杯争奪高等学校・第 28 回笛吹市清流杯争奪中学校弓道大会	1 月 12 日(日) 笛吹市石和清流館弓道場	県内外の弓道選手が熱戦を繰り広げた。予選・決勝を行った。 中学校 男子 10 チーム、女子 17 チーム 高校 男子 64 チーム、女子 75 チーム参加	750 人

公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団が主催するスポーツ振興事業（令和2年度）

No.	事業名	実施期間・会場	事業内容	参加者数
1	第 16 回笛吹市長杯争奪ソフトテニス大会	5月10日(日) 笛吹市石和中央テニスコート	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
2	第 25 回清流杯争奪少年柔道大会	5月10日(日) 笛吹市石和清流館相撲場	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
3	第 28 回清流杯争奪笛吹わんぱく相撲大会	5月31日(日) 笛吹市石和清流館柔道場	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
4	第 15 回笛吹市軟式野球大会	8月2日(日) 8月9日(日) 笛吹市石和農村スポーツ広場 石和中学校グラウンド	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
5	第 51 回石和温泉柔道大会兼第 56 回笛吹市スポーツ少年団大会	8月9日(日) 笛吹市石和清流館柔道場	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
6	第 32 回スコレーカップわんぱくサッカー大会	9月5日(土) ～9月6日(日) 清流公園芝生広場 笛吹市石和農村スポーツ広場 他	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
7	SOMPO ボールゲームフェスタ 2020	11月15日(日) 笛吹市いちのみや桃の里スポーツ公園体育館 他	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年5月23日へ延期	
8	第 29 回清流杯争奪少年剣道大会	12月13日(日) 笛吹市石和清流館剣道場	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
9	第 28 回笛吹市清流杯争奪高等学校・第 29 回笛吹市清流杯争奪中学校弓道大会	1月10日(日) 笛吹市石和清流館弓道場	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
10	第 29 回スコレー旗少年野球大会	3月14日(日) 笛吹市石和農村スポーツ広場	10月17日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日程変更並びに規模を縮小し、6年生の市内外4チームによる交流試合を行った。	60人

4 運動教室・スポーツイベントの開催状況

(1) 運動教室

本市では、市スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ及び公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団が主催する事業のほか、社会体育の振興を図るために設置されている社会体育指導員により、健康維持や体力向上を目的とした運動教室や、高齢者や運動習慣の割合が低い人を対象に、健康づくりや仲間づくりのための健康教室、体力づくり教室を開催し、市民が運動・スポーツに親しむ機会を提供しています。

また、高齢者の健康促進を目的に、一般社団法人ヴァンフォーレススポーツクラブと共催してストレッチや老化予防体操などの健康運動教室も開催しており、参加した方の体力向上につながっています。

なお、「笛吹市特定健診・健康診査質問票」の集計によると、本市における65歳以上の運動習慣は、1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者の割合が、令和元年度において、男性31.2%、女性27.3%となっており、国の「国民健康・栄養調査」における同年代の数値（男性41.9%、女性33.9%）を下回っています。しかし、本市では、調査項目に含まれない日常生活の中で、体を動かさず習慣のある人も多くいます。

社会体育指導員による運動教室等の回数・参加人数の推移

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
運動教室等 開催回数	152 回	155 回	164 回	167 回	135 回
参加人数	5,181 人	5,444 人	5,324 人	5,634 人	4,934 人

※令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、3月の講座は中止となりました。

運動習慣の割合

(単位：%)

年齢 区分	性別	全国					笛吹市				
		H27	H28	H29	H30	R1	H27	H28	H29	H30	R1
20～ 64 歳	男	24.6	23.9	26.3	21.6	23.5	17.6	19.1	17.6	18.4	18.6
	女	19.8	19.0	20.0	16.6	16.9	12.5	13.7	12.9	13.1	13.5
65 歳 以上	男	52.5	46.5	46.2	42.9	41.9	30.6	31.9	31.6	31.6	31.2
	女	38.0	38.0	39.0	36.5	33.9	27.1	27.9	26.9	27.2	27.3

※1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者の割合

資料：厚生労働省「国民健康・栄養調査」、笛吹市特定健診・健康診査質問票

(2) スポーツ大会・イベントの開催

本市では、毎年桃の花の時期にあわせて笛吹市桃の里マラソン大会の開催と、桃源郷春まつりにあわせて全国ゲートボール大会を開催しています。これらの大会には、関東近県を中心に、全国から多くの参加者が集まります。

このほか、多くの市民にスポーツへの参加の機会を提供するとともに、健康維持、体力の向上を図り、あわせて市民相互のコミュニケーションの向上を目的として、スポーツフェスティバル、市民ウォーク、スキー・スノーボード教室、体力測定を行っています。

市民まつりとあわせて開催するスポーツフェスティバルでは、誰もが楽しめる軽スポーツやニュースポーツを行っています。また、市民ウォークは自然の景観や街並み、歴史文化資源の散策と軽スポーツを組み合わせ開催しています。これらの活動は、スポーツ推進委員の協力のもと行われています。

また、県民が気軽に参加し、スポーツ・レクリエーションを楽しみ、交流を深める場とし、生涯スポーツの振興を目的として開催される「山梨県スポーツ・レクリエーション祭」の参加を奨励しており、若年層から高齢者まで多くの方が参加しています。

市主催事業の参加人数の推移

(単位：人)

事業名	H27	H28	H29	H30	R 元	R2
スポーツフェスティバル	集計なし	316	311	324	中止	中止
体力測定	63	75	67	56	50	中止
市民ウォーク	20	46	中止	56	24	中止
スキー・スノーボード教室	48	中止	24	29	41	14
合 計	131	437	402	465	115	14

※平成28年度、平成29年度、令和元年度の中止は荒天のため、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スキー・スノーボード教室以外の事業は中止しました。

山梨県スポーツ・レクリエーション祭 参加人数の推移

(単位：人)

年 度	男	女	合計
平成27年度	249	178	427
平成28年度	258	199	457
平成29年度	265	170	435
平成30年度	247	167	414
令和元年度	250	152	402
令和2年度	—	—	中止

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が中止になりました。

5 スポーツ推進委員の状況

スポーツ推進委員は、令和2年度74人の方が在任し、本市のスポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整、市民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツの推進に関する指導及び助言を担っています。

スポーツ推進委員は、笛吹市スポーツフェスティバルや笛吹市民ウォーク、小学生の体力低下の解消を目的に、体力測定種目を中心としたボールの投げ方や力の入れ方を教える体の動かし方教室などの事業を実施しているほか、ニュースポーツの紹介や普及、その他スポーツ行事等への協力、平成30年度からは市内にある県立高等支援学校において輪投げやカローリング、ボッチャなどの軽スポーツ体験会を実施するなど、障がいのある人への運動の機会も提供しています。

委員の資質向上を図るための研修として、心肺蘇生法やAEDの使用法、けがの対処などの応急手当を取得する普通救命講習会を毎年実施しています。

また、山梨県スポーツ推進委員協議会が実施するリーダー講習会や、体力・運動能力の測定方法を学び、学校現場や体力・運動能力調査などの実践に役立てることを目的としたファミリー健康体力向上アドバイザー養成講習会など、多くの研修に委員を派遣し、委員のスキルアップに努めています。

活動内容

- ・ 笛吹市桃の里マラソン大会(4月)
- ・ 笛吹市桃源郷春まつり全国ゲートボール大会(4月)
- ・ 笛吹市スポーツフェスティバル(10月)
- ・ 小学生(2年生)を対象とした体の動かし方教室
- ・ 笛吹市民ウォーク(11月)
- ・ 甲斐サミット～輪投げチャレンジの集い～
- ・ 軽スポーツ(輪投げ・ボッチャ等)の推進、普及
- ・ 体力・運動能力調査の判定員
- ・ 本気のラジオ体操への協力
- ・ 地区福祉まつり等への協力(軽スポーツブース)
- ・ 市民参加型スポーツイベントの協力
- ・ 普通救命講習会受講
- ・ その他、山梨県スポーツ推進委員協議会で実施する研修会等への参加

6 山梨県立笛吹高等学校との包括連携協定

本市は、教育目標に「地域社会の形成に進んで参画できる生徒の育成」を掲げ、「学んだことを活かす」場面を設定し、積極的に社会参画に資する人材育成を目指している山梨県立笛吹高等学校と平成 29 年 4 月に包括連携協定※1 を締結しました。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成※2 を図ることと併せ、笛吹高校運動部の競技力向上に資するため、令和元年度から交流事業として地元オリンピックによるウエイトトレーニング指導のほか、ヴァンフォーレ甲府のトレーナーによるフィジカルトレーニング指導も行っています。令和 2 年度においては、笛吹高校運動部（14 競技、393 名）でトレーニング指導を希望する部活動を対象に実施しています。

また、笛吹高校では、授業や部活動で学んだことや経験したことを、小学生や中学生など異校種間の交流を通して実践で活かす活動を行っています。運動部では、自らの体験や知識を活かして市内スポーツ少年団などの子どもたちを指導することで、社会性を身に付けるとともに、自己の技術を確認できることで競技力の向上につなげることと併せて、子どもたちと近い年代の高校生が、その競技の楽しさや魅力を伝えることにより、競技の継続、選手の育成につなげる活動も行っています。



※1 包括連携協定は、地域が抱えている様々な課題に対して、自治体と民間企業等が双方の強みを活かして課題解決に向けて連携していく取組

※2 機運醸成は、「雰囲気を作り出す」「気分を生み出す」という意味

7 体育施設の概要と利用状況

本市では、市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、生活文化の向上のため、社会体育施設（体育館・グラウンド・テニスコート等）のほか、市内小中学校の体育館やグラウンドを学校教育に支障のない範囲として、体育施設利用登録団体に限り利用を認め活用しています。

社会体育施設については、笛吹市春日居柔剣道場、笛吹市多目的広場以外の施設について、民間事業者や地域のスポーツ関係団体等のノウハウを活用し、より質の高いサービスの提供とともに、施設の維持管理費用を縮減する観点から、指定管理者制度を導入しています。

本市の体育施設の利用状況は、令和元年度の社会体育施設においては年間延べ約 36 万人、学校体育施設の開放では年間延べ約 14 万人が利用し、令和 2 年度の社会体育施設では年間延べ約 26 万人、学校体育施設の開放では年間延べ約 10 万人が利用しており、市民誰もがスポーツを親しむことができる場として健康維持や体力づくり、競技力向上に活用されているほか、温泉地として多くの宿泊施設を有する本市は、スポーツ合宿の場として平成 30 年度は延べ 8,208 人、令和元年度は延べ 8,293 人の宿泊者が利用しています。

また、桃の里マラソン大会や全国ゲートボール大会、石和温泉シニアソフトボール大会などの全国大会、ソフトテニス、少年野球等の県大会や各種競技の県予選会、ソフトボールやバレーボール等の地区スポーツ大会など、全国大会から地区大会まで多くの競技スポーツ大会の会場として利用されています。

しかし、社会体育施設、学校体育施設ともに経年による老朽化が進み、各施設の修繕には膨大な費用が必要になることから計画的な施設整備・修繕に取り組んでいます。

(1) 体育施設の概要

社会体育施設一覧表

名称	位置	建設年
笛吹市石和中央テニスコート	笛吹市石和町広瀬 588 番地	昭和 58 年
笛吹市石和農村スポーツ広場	笛吹市石和町広瀬 666 番地 1	昭和 62 年
笛吹市石和清流館（柔道場、剣道場、弓道近の場）弓道遠の場、相撲場	笛吹市石和町小石和 700 番地	平成 4 年
笛吹市御坂花鳥の里スポーツ広場	笛吹市御坂町大野寺 250 番地	平成 3 年
笛吹市御坂体育館	笛吹市御坂町尾山 5 番地	昭和 57 年
笛吹市御坂テニスコート	笛吹市御坂町尾山 5 番地	昭和 57 年
笛吹市御坂テニス&キッズ広場	笛吹市御坂町尾山 32 番地 1	平成 16 年
笛吹市御坂中央弓道場	笛吹市御坂町栗合 374 番地	昭和 52 年
笛吹市御坂成田弓道場	笛吹市御坂町成田 397 番地	平成 3 年
笛吹市いちのみや桃の里スポーツ公園（グラウンド、体育館、柔道場、剣道場、トレーニングルーム）	笛吹市一宮町末木 1001 番地	平成 8 年
笛吹市一宮スポーツ広場（テニスコート、弓道場）	笛吹市一宮町東原 335 番地 2	昭和 47 年
笛吹市若彦路ふれあいスポーツ館（体育館、柔・剣道場、トレーニングルーム）	笛吹市八代町南 457 番地	平成 4 年
笛吹市若彦路ふれあいスポーツ館（弓道場）	笛吹市八代町南 457 番地	平成 6 年
笛吹市八代中央スポーツ広場	笛吹市八代町南 527 番地	昭和 58 年
笛吹市八代町南部スポーツ広場	笛吹市八代町米倉 36 番地	昭和 60 年
笛吹市八代中央水泳プール	笛吹市八代町南 497 番地	平成 4 年
笛吹市境川スポーツセンター（グラウンド、体育館、テニスコート）	笛吹市境川町三柵 7 番地	平成 3 年
笛吹市境川弓道場	笛吹市境川町石橋 2445 番地	平成 6 年
笛吹市春日居スポーツ広場（グラウンド、テニスコート）	笛吹市春日居町鎮目 1323 番地	平成 10 年
笛吹市春日居弓道場	笛吹市春日居町鎮目 1696 番地	昭和 57 年
笛吹市春日居柔剣道場	笛吹市春日居町加茂 147 番地	昭和 57 年
笛吹市芦川スポーツ広場	笛吹市芦川町鶯宿 1613 番地 1	昭和 58 年
笛吹市芦川テニスコート	笛吹市芦川町新井原 834 番地	平成 5 年
笛吹市多目的広場	笛吹市石和町砂原 862 番地 1	平成 18 年・移管

(2) 体育施設の利用状況

社会体育施設

(人)

名 称	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
石和中央テニスコート	43,290	51,120	46,280	33,162
石和農村スポーツ広場	19,828	20,999	21,076	16,260
石和清流館	36,390	35,445	31,935	26,107
御坂花鳥の里スポーツ広場	33,846	39,457	34,420	15,802
笛吹市御坂体育館	41,981	40,047	37,739	31,977
御坂テニスコート	7,149	4,813	0	3,177
御坂キッズ広場	2,322	1,630	960	840
御坂キッズ広場テニスコート	4,376	4,322	4,316	5,744
御坂中央弓道場	124	205	141	93
御坂成田弓道場	1,441	1,035	943	315
いちのみや桃の里スポーツ公園(グラウンド)	46,111	46,583	34,450	21,705
いちのみや桃の里スポーツ公園(体育館、柔道場、剣道場、トレーニングルーム)	50,493	45,327	41,984	30,648
一宮スポーツ広場(テニスコート)	8,266	6,179	5,426	6,558
一宮スポーツ広場(弓道場)	255	495	455	631
若彦路ふれあいスポーツ館(体育館、柔・剣道場、トレーニングルーム)	40,245	38,177	37,821	24,566
若彦路ふれあいスポーツ館(弓道場)	136	310	292	68
八代中央スポーツ広場	10,667	12,888	12,425	9,241
八代南部スポーツ広場	1,987	2,984	1,594	1,622
八代中央水泳プール	878	779	1,123	0
笛吹市境川スポーツセンター(グラウンド)	8,848	11,251	8,637	2,663
笛吹市境川スポーツセンター(体育館)	10,144	14,170	10,091	5,445
笛吹市境川スポーツセンター(テニスコート)	5,259	5,053	5,095	3,459
境川弓道場	616	630	586	316
春日居スポーツ広場(グラウンド)	12,229	17,919	12,897	7,482
春日居スポーツ広場(テニスコート)	5,567	5,667	5,014	5,567
春日居弓道場	1,312	901	806	1,233
春日居柔剣道場	1,632	1,983	1,353	649
芦川スポーツ広場	929	900	1,037	317
芦川テニスコート	44	27	4	5
笛吹市多目的広場	3,450	0	0	0
合 計	399,815	411,296	358,900	255,652

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、令和2年3月10日から令和2年3月31日まで全ての施設が利用中止になりました。4月になり一時的に利用可能となりましたが、屋内施設は令和2年4月8日から令和2年5月31日まで、屋外施設は令和2年4月10日から令和2年5月27日まで利用中止になりました。利用再開後も感染拡大予防ガイドラインの遵守や利用制限のもと施設利用されています。

学校開放施設

(人)

名 称	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度
石和中学校(グラウンド)	2,144	1,270	1,590	1,056
石和中学校(体育館)	6,912	6,779	5,156	3,073
石和南小学校(グラウンド)	4,600	4,305	4,745	3,621
石和南小学校(体育館)	6,874	5,985	5,410	2,827
石和北小学校(グラウンド)	1970	2,758	3,653	1,022
石和北小学校(体育館)	5,284	5,491	6,223	2,503
富士見小学校(グラウンド)	5,408	4,521	3,787	2,704
富士見小学校(体育館)	6,548	5,427	4,537	3,323
石和東小学校(グラウンド)	4,839	2,827	3,647	975
石和東小学校(体育館)	2,077	2,101	2,070	502
石和西小学校(グラウンド)	7,100	8,480	5,610	21,035
石和西小学校(体育館)	8,654	5,459	6,294	4,578
御坂中学校(グラウンド)	800	596	0	0
御坂中学校(体育館)	3,580	2,022	2,542	599
御坂中学校(格技場)	1,076	1,510	1,354	933
御坂西小学校(グラウンド)	9,076	7,645	5,905	4,312
御坂西小学校(体育館)	12,526	7,951	9,385	4,710
御坂東小学校(グラウンド)	4,370	4,997	4,440	1,350
御坂東小学校(体育館)	1,789	2,480	1,122	224
一宮中学校(グラウンド)	6,876	5,645	5,795	7,125
一宮中学校(体育館)	5,640	8,220	6,043	3,654
一宮西小学校(グラウンド)	2,962	3,090	2,030	1,515
一宮西小学校(体育館)	4,112	4,573	3,270	2,805
一宮南小学校(グラウンド)	1,640	614	490	0
一宮南小学校(体育館)	3,417	2,671	2,312	1,034
一宮北小学校(グラウンド)	6,975	6,440	6,290	4,262
一宮北小学校(体育館)	2,597	2,079	1,693	2,160
浅川中学校(体育館)	1,497	1,340	1,986	1,733
八代小学校(グラウンド)	3,917	3,591	3,643	4,031
八代小学校(体育館)	6,150	7,188	8,140	6,459
境川小学校(グラウンド)	4,129	5,131	5,161	703
境川小学校(体育館)	3,247	4,077	5,251	361
春日居中学校(体育館)	3,130	2,531	2,783	4,524
春日居小学校(グラウンド)	934	1,911	1,374	1,640
春日居小学校(体育館)	3,473	2,806	3,567	2,558
芦川小学校(体育館)	585	763	497	249
合 計	156,908	145,274	137,795	104,160

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、令和2年3月3日から令和2年6月3日まで全ての施設が利用中止になりました。利用再開後も感染拡大予防ガイドラインの遵守や利用制限のもと施設利用されています。

第3章 基本構想

1 基本理念

基本理念

スポーツで育む「こころ」と「からだ」
笑顔あふれる 笛吹市

市民誰もがスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことに携わり、スポーツを楽しむことや親しむことで、生涯にわたって心身ともに健康な生活を営み、笑顔があふれるこころ豊かな暮らしの実現を目指します。

2 基本目標

基本理念の実現に向けて、次の4つを基本目標とし、具体的施策の取組を進めていきます。

基本目標1：生涯スポーツの振興

基本目標2：健康づくりの推進

基本目標3：スポーツ施設の充実

基本目標4：スポーツ団体及び指導者の育成、支援

第4章 基本施策と具体的方策

基本目標1：生涯スポーツの振興

(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 <「する」スポーツの推進>

市民の誰もがスポーツに親しみ、地域などで気軽にスポーツを楽しめるよう関係団体と連携して、スポーツイベントや各種教室を開催するとともに情報発信を充実させ、スポーツ人口の拡大に努めます。

健康づくりや体力づくりに関する知識の普及や気軽に取り組むことができる軽スポーツの推進を図り、市民の主体的な健康づくりや体力づくりを支援します。

また、障がいのある人もスポーツに親しむことができる環境づくりを図ります。

【現状と課題】

各年代の生活環境などライフステージに応じたスポーツ活動の実態を把握するとともに、高齢者や運動習慣の割合が低い人もスポーツ活動を身近に親しむことができるよう、仕事や家事・育児とのバランスをとりながら日常的に気軽にスポーツに親しめるような参加機会の拡充と、心身の健康の保持・増進に向け、多様なスポーツ・レクリエーションの普及・啓発を図る必要があります。

また、障がいのある人へ健康増進やコミュニティづくりを目的としたスポーツ・レクリエーションの支援が必要とされています。

【具体的な取組】

- ◇ 気軽にできるスポーツや健康づくりとしてのスポーツ活動のニーズを捉え、公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団、笛吹市スポーツ協会、スポーツ推進委員及び総合型地域スポーツクラブなどと連携のもと、全ての世代が気軽に参加できて楽しめるスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。
- ◇ 高齢者や運動習慣の割合が低い人を対象にした健康教室、体力づくり教室の開催など、市民が運動・スポーツに親しむ機会を提供します。
- ◇ スポーツ推進委員や関係機関と連携を図り、障がいのある人へ運動の機会を提供します。
- ◇ 障がい者トップアスリートによる講演会などを開催し、障がい者スポーツへの理解と魅力の発信に努めます。

(2) スポーツへの参加機会の創出 <「みる」スポーツの推進>

プロスポーツチームやトップアスリートが活躍する姿は、スポーツ愛好者はもとより、見る人に勇気と希望を与え、子どもたちにとっては憧れの存在となります。

プロスポーツチームやトップアスリートが繰り広げる高度なパフォーマンスを見る、また、直接ふれあうことで、スポーツに親しむ、スポーツが好きになる、スポーツの魅力を発見するきっかけとなる機会の提供に努め、スポーツ人口の拡大と地域の活性化を図ります。

【現状と課題】

現在、地元プロサッカーチームであるヴァンフォーレ甲府の公式戦ホームゲームでの、ホームタウンサンクスデーに本市も参加し、観戦機会の提供などを行っていますが、スポーツへの参加人口を増やすため、市民へ広くトップアスリートのパフォーマンスを見る機会の提供が求められています。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、トップアスリートとの交流やスポーツ観戦など、スポーツに親しむ機会やスポーツを通じた地域の活性化が期待されています。

【具体的な取組】

- ◇ プロサッカーチームのヴァンフォーレ甲府の公式戦など、トップアスリートを身近で観戦する機会を提供します。
- ◇ プロサッカーチームのヴァンフォーレ甲府や女子プロバスケットボールチームの山梨クィーンビーズの選手との交流機会の提供に努めます。
- ◇ 全国規模の大会やブロック大会の誘致を促進し、市民に身近な場所でレベルの高い競技スポーツの観戦機会を提供します。
- ◇ 交通の利便性など立地条件を活かし、国際大会や全国規模の大会などにおいて、トップチームが大会に備えて実施する強化合宿や事前合宿などの会場として施設利用を促進し、トップアスリートの取り組む姿勢を身近に感じることで、スポーツへの興味関心の高揚を図ります。
- ◇ 世界や全国で活躍する本市ゆかりのチームや選手の情報を発信することで、応援する機会を市民に広く提供します。
- ◇ ワールドカップやオリンピック・パラリンピック競技大会などの国際的な大規模スポーツイベントにおいて、パブリックビューイングなどにより、本市ゆかりのチームや選手の活躍を市民が一体となって観戦・応援する機会を提供します。

(3) 地域に活力をもたらすスポーツ環境づくり <「ささえる」スポーツの推進>

一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会の実現を目指して、スポーツを「する人」「みる人」だけでなく「ささえる人」のそれぞれがスポーツに関わることができる環境を整え、スポーツを通じたコミュニティづくりと地域活性化の取組を推進します。

【現状と課題】

本市は温泉地として多くの宿泊施設を有しており、宿泊を伴うスポーツ合宿の場として、平成30年度は延べ8,208人、令和元年度は延べ8,293人の宿泊者が体育施設を利用しています。今後、大会やスポーツ合宿による交流人口の拡大、またスポーツと観光を連携させた観光振興など、スポーツを活用した地域活性化が期待されています。

一方、全国各地で集客増加を見込んだスポーツイベント等が展開されていますが、このようなイベントを支えるボランティアの不足がみられるため、スポーツを支える喜び等の普及・拡大が課題となっています。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、桃の里マラソン大会及び桃源郷春まつり全国ゲートボール大会から地域のスポーツイベントまで、多くのスポーツイベントの中止や延期また参加者の減少や参加人数の制限などにより、地域活力の低下が懸念されます。

【具体的な取組】

- ◇ 桃の里マラソンや桃源郷春まつり全国ゲートボール大会等、観光と連携した取組を推進して、地域活力の維持向上に努めます。
- ◇ トップレベルの技術やプレーを身近に観戦する機会を市民に提供するとともに、さらなる交流人口拡大による地域の活性化を図るため、全国規模の大会やブロック大会、スポーツ合宿等の誘致を促進します。
- ◇ 指導者及び審判員の育成・確保に努めます。
- ◇ スポーツを「する」「みる」だけでなく、ボランティアとしてスポーツを「ささえる」ことにより、人とつながる喜びを感じることができる、スポーツボランティア活動に参加しやすい環境づくりとともにスポーツボランティア団体の育成に努めます。
- ◇ 山梨県立笛吹高等学校や県内大学との連携とともに、スポーツ団体、企業等と協働して、地域の活性化を図る交流事業の実施に取り組みます。
- ◇ 新型コロナウイルスなどの感染症に伴う感染拡大防止対策を徹底し、安全・安心にスポーツを親しむことができる機会の提供に努めます。

基本目標 2 : 健康づくりの推進

(1) 子どもの健やかな身体の育成 <「する」スポーツの推進>

子どもが十分に身体を動かし、運動やスポーツの楽しさや価値が実感できる機会の充実を図ります。

また、体力・運動能力の向上と、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ習慣や能力の基礎を育むための指導の充実を図ります。

【現状と課題】

近年、子どもを取り巻く環境の変化により、屋外や集団で遊ぶ時間が少なくなっていることやスポーツ少年団の加入率が減少しています。

本市の小学校5年生の体力について、令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果における体力合計点では、男女ともに全国平均値及び山梨県平均値を下回っており、バランスの良い体力の向上に課題が見られます。また、同調査結果では、1週間の総運動時間が420分以上の割合が、男女とも全国平均を下回る結果になっています。

そのため、未就学期及び小学校低学年時において、体を動かすことの楽しさを伝え、運動・スポーツへの関心を高めるための取組とともに、学校教育（体育の授業）はもとより、運動部活動や学校以外での体を動かす機会を充実する必要があります。

【具体的な取組】

- ◇ スポーツ少年団が実施する各種スポーツ活動への支援を通じて、多種目・多年齢の子どもがふれあう機会づくりを推進し、子どもの健全な身体と心を育成します。
- ◇ 未就学期及び小学校低学年時において、運動・スポーツへの関心を高め、身体を動かすことの楽しさを実感できるよう、アクティブ・チャイルド・プログラムの普及など、幼児や親子を対象とした教室等の開催を支援します。
- ◇ 市や公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団等が行うスポーツ教室において、子どもを対象としたスポーツ教室を開催し、子どもの体力と運動能力の向上及び運動機会の提供を図り、健全な身体と心の育成に取り組みます。
- ◇ 子どもの基礎体力の向上を目指し、スポーツ推進委員等による指導に努めます。
- ◇ 総合型地域スポーツクラブが実施するスポーツ教室などの支援を通じて、子どもがスポーツを「する」きっかけや、運動に親しむ機会の提供に努めます。
- ◇ 県内のプロスポーツチームの活動や企業、学校と連携し、子どもへ身体を動かすことの大切さや楽しさを伝える事業のほか、食の大切さを伝える食育やスポーツを通じた健康啓発など、子どもの体力向上、健康増進及び健全育成に関わる取組を行います。

(2) 高齢者のスポーツ活動の推進 <「する」スポーツの推進>

年齢や体力に応じた健康づくりのため、高齢者が主体的、自主的、継続的に行うことができるスポーツ・レクリエーション活動の普及と、気軽に参加できる各種運動教室の開催に努めます。

【現状と課題】

近年、着実に高齢化が進む中、健康寿命をいかに伸ばしていくかが、生きがいづくりの観点からも大切になっています。

高齢者が無理なく日常的にスポーツ活動に親しみ、健康づくりや仲間づくりができるよう、関係部署と連携し、多様なスポーツ・レクリエーションの普及・啓発を図る必要があります。

【具体的な取組】

- ◇ 高齢者の活力ある生活を維持するため、一人ひとりが主体的、自主的、継続的に行うウォーキングや軽スポーツ、身体を動かす趣味活動、ゲームなどのスポーツ・レクリエーション活動を推進します。
- ◇ 高齢者が主体的に行う「いきいき百歳体操」を推進し、高齢者自身の健康増進、介護予防などの知識の普及・啓発を図ります。
- ◇ 関係部署や関係団体と連携し、高齢者が身近な場所で気軽に参加できる運動教室等の提供に努めます。
- ◇ 高齢者が日常的にスポーツ活動に親しめるよう市内体育施設の利用促進に努めます。

(3) 障がい者のスポーツ活動の推進 <「する」スポーツの推進>

障がいの有無にかかわらず、すべての人がスポーツに親しみ、仲間との交流や心身の健康づくりを推進するため、軽スポーツやレクリエーションに親しめる機会の充実に努めます。

また、スポーツの交流を通じて、障がいのある人もない人も、相互に理解を深め、共生社会の実現を目指します。

【現状と課題】

障がいのある人が心豊かな日常生活を送り、健康増進を図るためには、スポーツや文化活動など生涯学習の機会が必要とされています。

また、障がいのある人や障がい者団体等の日常的な交流やイベント等に気軽に利用できる施設の環境づくりも必要とされています。

【具体的な取組】

- ◇ スポーツ推進委員や関係機関と連携し、障がいのある人の社会参画や体力増進を図るため、気軽に参加できるスポーツ教室やイベントを開催し、スポーツやレクリエーション活動への参加の促進に努めます。
- ◇ 障がいの有無にかかわらず、スポーツ推進委員や関係機関と連携し、市民がともに軽スポーツを楽しむことができる教室やイベントを開催することにより、スポーツを通じた共生社会の実現と障がい者スポーツへの理解を高めます。
- ◇ 障がい者トップアスリートによる講演会などを開催し、障がい者スポーツへの理解と魅力の発信に努めます。

基本目標3：スポーツ施設の充実

スポーツ施設的环境整備 <「ささえる」スポーツの推進>

市民が主体的にスポーツに参加し、安全で快適に施設を利用できるよう、スポーツ施設的环境整備に取り組みます。

【現状と課題】

誰もがスポーツに親しむことができる場としての本市の社会体育施設は、令和元年度には年間延べ約 36 万人の市民が利用しています。あわせて、市民が日常生活の中で、より身近にもっとスポーツに親しめるよう、本市では社会体育施設だけでなく、従来から市立学校の体育施設の開放も積極的に行っており、令和元年度は年間延べ約 14 万人の市民が利用しています。

しかしながら、どの施設も経年による老朽化が進み、維持経費の増加などの課題を抱えており、安全性の確保や快適なスポーツ環境の提供のために、適切な維持管理や計画的な改修を実施する必要があります。

また、市民から、サッカーやラグビー、軽スポーツなどを通して健康づくりに活用できる芝生グラウンドの要望があります。

【具体的な取組】

- ◇ 現施設の整備や改修を計画的に実施することにより、施設の有効利用及び長寿命化を図り、利用者が良好で安全にスポーツ活動を行える施設環境の維持管理に努めます。
- ◇ サッカーやラグビー、軽スポーツなど多目的に活用できる芝生グラウンドについて整備を進めます。
- ◇ 体育施設の夜間照明の LED 化に取り組みます。
- ◇ 利用者のニーズを踏まえた適切な運営管理を行い、施設の有効利用、利用促進に努めます。
- ◇ 市民が安全に安心してスポーツ活動が行えるよう、施設におけるスポーツ用具の定期的な点検や保守管理、自動体外式除細動器「AED」の設置及び救急措置などの施設管理体制を整備し、スポーツ活動によって生じる事故などの防止、軽減を図り安全性の確保に努めます。
- ◇ ボッチャ、輪投げ、ボウリングシャトルなど様々な種目のスポーツ用具を広く市民に貸し出し、地域や職場を含めた多様な場面における、スポーツ・レクリエーション活動の普及振興に役立てます。

基本目標4：スポーツ団体及び指導者の育成、支援

(1) スポーツ団体の活動の支援 <「ささえる」スポーツの推進>

誰もが気軽にスポーツを楽しみ、集い、スポーツを通じた交流が広がる環境の充実に努め、スポーツの推進と市民相互の親和を目的に活動するスポーツ団体の支援を行います。

また、競技スポーツは、スポーツの楽しさと感動を与える魅力があり、スポーツへの強い関心を高める原動力となります。

本市では、関係団体と連携し、競技力の向上に向けた取組を行います。

【現状・課題】

スポーツ協会等が主催する地域におけるスポーツ大会を奨励するとともに、スポーツ振興のため、笛吹市スポーツ協会及びスポーツ少年団に対し、スポーツ大会出場や指導者育成等の各種活動に、補助金を交付し支援しています。

地域総合型スポーツクラブの「わいわいスポーツクラブ」は、子どもから大人までが、志向・レベルに合わせて参加しており、自主的・主体的に運営されています。

また、本市に所在する団体や在住している選手、ゆかりのある選手の競技環境及び競技力の向上を図るとともに、選手の活躍について、積極的な情報発信に努め、市民のスポーツへの関心を今まで以上に高める必要があります。

【具体的な取組】

- ◇ 笛吹市スポーツ協会等が主催するスポーツ大会の開催を支援します。
- ◇ 笛吹市スポーツ協会及びスポーツ少年団の活動を支援します。
- ◇ 地域スポーツクラブの活動場所の確保や情報発信の支援をします。
- ◇ 継続的に市体育祭り等を開催し、市民レベルからの競技力の向上を図ります。
- ◇ 国際大会への出場者を奨励します。
- ◇ 全国大会、関東大会（東日本大会、甲信越大会等も含む）に出場する団体や個人に補助金を交付し支援に努めます。
- ◇ 各種大会において、優秀な成績を収めた団体や個人に対して表彰を行い、更なる競技力の向上に努めます。
- ◇ 山梨県立笛吹高等学校との包括連携協定を活用した事業に積極的に取り組み、運動部の競技力向上と地域で活躍する人材の育成に努めます。

(2) 指導者の育成、確保 <「ささえる」スポーツの推進>

運動習慣の確立や体力の向上につながるよう、正しい知識のもと、適切な指導を行える指導者の育成・確保を推進します。

【現状・課題】

これまで、各団体等は自らが研修会や講習会を開催したり、中央競技団体や他の団体が主催する研修会や講習会に指導者を派遣し、指導技術の向上と指導者の確保に取り組んでおり、スポーツの普及と活性化に大きな役割を果たしています。

多くの場合、指導者には専門的な知識を伝えることが重要視されてきましたが、年代や競技ごとに多様なスポーツの場面において、選手の価値観やニーズにあわせた幅広い知識と専門的知識とともに、高い指導技術や競技によっては審判ライセンスの取得などが求められています。

また、スポーツ少年団では団員数の減少に比例して、指導者も減少しているため、スポーツの普及と活性化に大きな役割を果たす指導者の確保が必要とされています。

【具体的な取組】

- ◇ スポーツ推進委員がスポーツの普及や各種事業を開催するうえで必要な知識や技術の習得を支援します。
- ◇ 公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団、笛吹市スポーツ協会及びスポーツ少年団と協力し、高い指導技術を備えた指導者の育成・確保に関する研修会等の開催を支援するとともに、指導者ライセンスや審判ライセンス取得の普及を推進します。
- ◇ 未就学期及び小学校低学年時において、運動・スポーツへの関心を高め、身体を動かすことの楽しさを実感できるよう、アクティブ・チャイルド・プログラムの普及と指導者の育成を支援します。

施策の数値目標

指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)
交流事業実施回数	1回	5回
市主催事業の参加人数	402人(H30) 112人(R1)	460人
スポーツ少年団への加入率 (市内小学生及び中学生の加入者)	16.72%	20.00%
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の全国体力合計点との比較(小学5年) (市平均/全国平均×100)	男子 97.9% 女子 97.1% (令和元年度)	男子 100% 女子 100%
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における1週間の総運動量420分以上の割合(小学5年)	男子 47.8% 女子 29.4% (令和元年度)	男子 55.0% 女子 31.0%
運動習慣の割合(65歳以上) (1回30分以上の運動を週2回以上実施し 1年以上継続している者の割合)	男性 31.2% 女性 27.3% (令和元年度)	男性 36.0% 女性 32.0%

※令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査は中止されています。

第5章 計画の推進

1 計画の推進体制

本計画の基本理念である「スポーツで育む「こころ」と「からだ」笑顔あふれる
笛吹市」の実現に向けて、市民、地域、行政が連携して取組を進める必要があります。

(1) 市民の役割

市民一人ひとりが生涯にわたって、自分にあったスポーツ活動を実践することが必要です。そのためには、スポーツを実際に行うだけでなく、トップレベルの大会の観戦や友人・家族・職場などの身近なチームの応援への参加、指導者やボランティアとして大会や各種スポーツ団体の運営を支援するなど、さまざまな場面でスポーツに関わることが期待されます。

(2) 地域の役割

地域では、市体育祭りをはじめ、様々なスポーツに関するイベントが開催されています。今後とも、それぞれの地域の特性や強みを生かし、また、学校や企業、行政と連携し、各種スポーツイベントをより活性化させることが求められます。あわせて、これらの活動にあたっては、スポーツ推進委員や市スポーツ協会などを中心に、地域住民のスポーツ意欲を高めることが期待されます。

(3) 行政の役割

行政は、スポーツに関する市民ニーズを的確に把握・分析し、スポーツ活動の推進に必要な事業を実施します。

また、体育施設の適正管理、関係団体との連携を図り、市民の健康づくりを担うため、誰もが気軽にスポーツを親しむことができるまちづくりの実現を目指します。

2 計画の進行管理（評価・見直し）

計画を着実に推進するとともに、計画期間最終年である令和7年度の数値目標として掲げた数値の達成状況で評価するほか、スポーツ環境の変化等に対応するため、事業の進捗状況を検証して、必要に応じて見直しを行います。

笛吹市スポーツ推進審議会委員 名簿

令和元年度・令和2年度

役職	氏名	所属等	備考
会長	川崎 正次	学識経験者 笛吹市スポーツ推進審議会委員 (H23～副会長、H29～会長)	
副会長	深山 礼	笛吹市スポーツ協会副会長 笛吹市スポーツ推進委員副会長	
	相澤 光彦	笛吹市スポーツ協会副会長 境川町体育協会顧問（前会長）	
	三枝 博	笛吹市スポーツ少年団顧問	
	塩澤 和彦	笛吹市スポーツ推進委員	
	雨宮 克枝	笛吹市スポーツ推進委員	
	筒井 寿	笛吹市小中学校長会	
	井上 孝悦	山梨県立笛吹高等学校校長	
	前田 一貴	(公財)ふえふき文化・スポーツ振興財団 事務局長	令和元年度
	雨宮 寿男	(公財)ふえふき文化・スポーツ振興財団 事務局長	令和2年度
	渡辺 修	わいわいスポーツクラブ	

令和3年度

役職	氏名	所属等	備考
会長	川崎 正次	学識経験者 笛吹市スポーツ推進審議会委員 (H23～副会長、H29～会長)	
副会長	深山 礼	笛吹市スポーツ協会副会長 笛吹市スポーツ推進委員副会長	
	窪川 克己	笛吹市スポーツ協会副会長 笛吹市スポーツ推進審議会委員 (H27～30)	
	村松 敏子	笛吹市スポーツ協会副会長 笛吹市スポーツ少年団本部長	
	塩澤 和彦	笛吹市スポーツ推進委員	
	雨宮 克枝	笛吹市スポーツ推進委員	
	猪股 真弥	笛吹市小中学校長会	
	井上 孝悦	山梨県立笛吹高等学校校長	
	雨宮 寿男	(公財)ふえふき文化・スポーツ振興財団 事務局長	
	渡辺 修	わいわいスポーツクラブ	

笛吹市スポーツ推進計画

令和3年 月

発行・編集 笛吹市教育委員会生涯学習課
〒406-0031 山梨県笛吹市石和町市部 809-1
電話 055-261-3338 FAX 055-261-3340
e-mail sports-shinkou@city.fuefuki.lg.jp